

エリザベト音楽大学コンサートシリーズ スピリチュアルコンサート

# トマシュ・リッテル フォルテピアノリサイタル

公益社団法人日本産業退職者協会 広島支部  
留学生支援コンサート

2025. **6/29** (日)

15:00開演 (14:30開場)

エリザベト音楽大学 セシリアホール  
(広島市中区鞆町4-15)

チケット 前売り 2,000円 全自由席  
当日 2,500円

## Program

### 使用楽器 トマシェック

ウイーン製 Nr1723 (本学所有)

- W. A. モーツァルト：  
ピアノ・ソナタ第6番 ニ長調 K. 284 (繰り返し省略)
- L. v. ベートーヴェン：  
ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op. 27-2「月光」
- F. メンデルスゾーン：  
無言歌集より「デュエット」op.38-6  
「羊飼いの嘆き」op.67-5  
「巡礼の歌」op.67-3
- F. ショパン：バラード第1番op.23
- L. v. ベートーヴェン：  
創作主題による32の変奏曲 ハ短調 WoO 80\*

\* スタインウェイ使用

※曲目は変更する場合がございますので予めご了承ください。

ショパン国際ピアノド楽器コンクール初代覇者

©T. ZYDATISS

前売券取扱い (4/28より販売開始)

ぴあ各店 (Pコード293-988)

◆WEB⇒<http://pia.jp/t> [PC/携帯]

◆店頭⇒セブン-イレブン「マルチコピー機」

エディオン広島プレイガイド 東館9F

☎082-247-5111

※開演中の客席への出入り及び演奏会場内での写真・録音・録画は固くお断りいたします。

※小学生未満のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

主催：エリザベト音楽大学

共催：公益社団法人 日本産業退職者協会広島支部

お問い合わせ：広島市中区鞆町4-15 エリザベト音楽大学 学事部演奏活動 Tel 082-225-8004 (直通・平日9:00~16:30)

082-221-0918 (代表) E-Mail: [enso01@eum.ac.jp](mailto:enso01@eum.ac.jp) <https://www.eum.ac.jp/>



# Profile



## Tomasz RITTER

トマシュ・リッテル

2024年ブリュージュ国際古楽コンクール第1位受賞。

2018年、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール優勝。

1995年ポーランドのルブリン生まれ。ワルシャワのシマノフスキ国立音楽学校にてイリーナ・ドンブロフスキに師事、優秀な成績で卒業した。14年からモスクワ音楽院に留学し、ミハイル・ヴォスクレセンスキーにピアノを、アレクセイ・リュビモフにピアノとフォルテピアノを、マリア・ウスペンスカヤとアレクセイ・シェフチェンコにチェンバロを師事。またハンブルク音楽演劇大学にてフベルト・ルトコフスキの下でピアノとフォルテピアノを学んだ。

ソリストとしてポーランド放送交響楽団、シンフォニア・ヴァルソヴィア、18世紀オーケストラ、バッハ・コレギウム・ジャパン等と共演。サントリーホールでのチェンバーミュージック・ガーデン(19年)、カーネギーホールでのA.ルービンシュタイン記念リサイタル(19年)等に出演、欧米や日本で活動を広げている。24年には、ユリアンナ・アヴデーエワ、川口成彦とともに〈The Real Chopin×18世紀オーケストラ〉日本ツアーでソリストを務めた。2023年10月、第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクールオープニングコンサートにマルタ・アルゲリッチ、ブルース・リウ、川口成彦とともに招かれ、ピリオド楽器によるベートヴェン:ピアノ協奏曲第3番を演奏した。

HIP(Historically informed performance 歴史的情報に基づく演奏)はリッテルの活動において重要な位置を占めており、マルコム・ビルソン、アンドレアス・シュタイアー、トビアス・コッホらの影響を受け、ポール・マクナルティやエドヴィン・ブンクらピリオド楽器のコレクター／修復家とも交流を持つ。

### 共催団体 公益社団法人日本産業退職者協会広島支部

(公社)日本産業退職者協会広島支部は平成4年に設立。平成5年には社会貢献の目的で留学生交流会を開催しました。爾来20年にわたる交流事業を評価され、平成26年9月内閣府の社会参加章を受章しました。また、(公財)広島平和文化センターの「ひろしま留学生基金」に毎年寄付を行い、留学生支援に貢献しています。